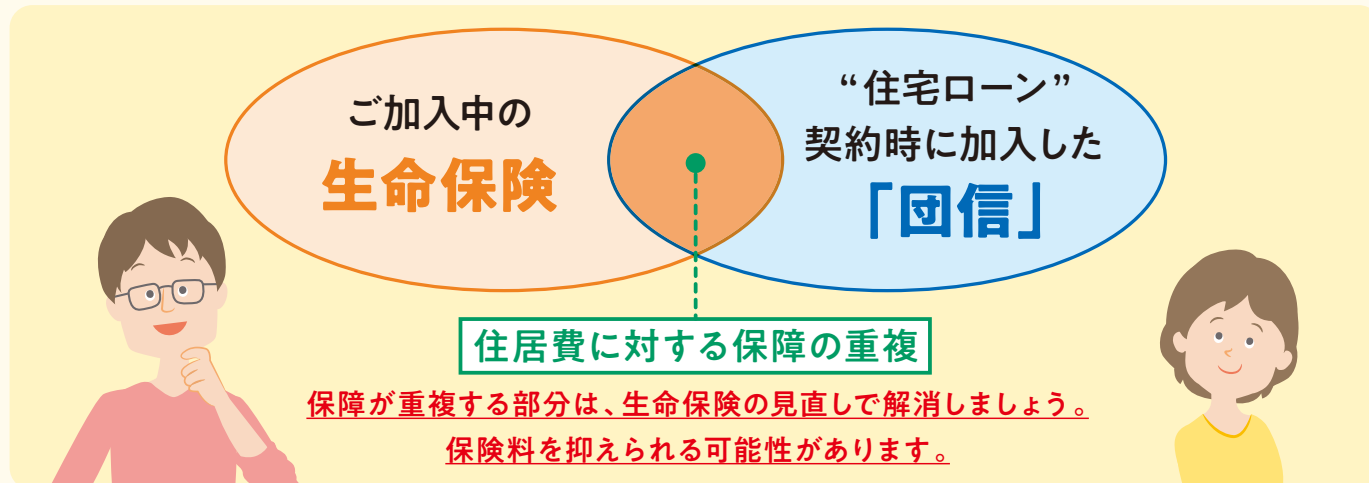


〈団信加入後の家計の見直し〉

「団体信用生命保険」の保障内容に注目！

住宅ローン契約時に加入する団体信用生命保険（団信）と
加入中の生命保険の重複を見直せば保険料を下げられる可能性があります。
浮いた保険料で他の保障を厚くすることも可能です。

〈保障の重複がないかチェック〉



〈生命保険の見直し〉

たとえば 現在加入している保険を必要保障額に合った保険に見直した場合の例

ご契約者：40歳男性 / ご家族：奥さま、小学生のお子さま2名
死亡保険金：一時金6,000万円から毎月25万円（最大受取時6,000万円）へ変更



月々の保険料支払額が約1万円削減。**年間で約12万円のメリットに！**

※上記は一例です。見直しに際してご提案するプランはお客さまごとのライフプランや収支状況などによって異なります。※保険の見直しをする場合は、新たな保険に加入してから既加入保険の見直しをすることをお勧めします。健康状態をはじめ各種条件により、新たな保険に加入できない場合があります。

無駄をなくせて、
家計が
助かったよ！

まずは相談して気軽に
シミュレーション！

『りそな銀行でお役に立てることがあります』

下記の商品を活用した家計の見直しをご提案します。

〈収入保障保険〉

〈定期保険〉

〈終身保険〉

〈医療保険〉

など

〈住宅ローン控除を活用した積み立て〉

住宅ローン控除が受けられる期間に注目！

住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）の還付金を
資産として有効に積み立てることで、
これからの人生で起こるさまざまなライフイベントに備えましょう！

〈住宅ローン控除の仕組み〉

■控除限度額

居住開始年月日	適用される消費税率	種類	年末残高限度額	控除期間	控除率		各年の控除限度額
					1～10年	11～13年 「年末残高×1%」or 「(住宅取得等対価の額-消費税額) ×2%÷3年」の少ない方	
2019年10月1日 ～2020年12月31日	10%	一般住宅	4,000万円	13年間	1%		40万円
	8%	認定住宅	5,000万円	10年間			50万円
2021年1月1日 ～2021年12月31日	10%, 8%	一般住宅	4,000万円	10年間	1%		40万円
		認定住宅	5,000万円				50万円

住宅ローンを利用して住宅を購入し、確定申告等で申請した場合、所定の期間、住宅ローン控除が適用されます。

各年の控除限度額は最大40万円（認定住宅の場合最大50万円）となっており、原則として所得税から税額控除されます。

※所得税で控除しきれなかった税額控除分は、住民税からも税額控除されます。

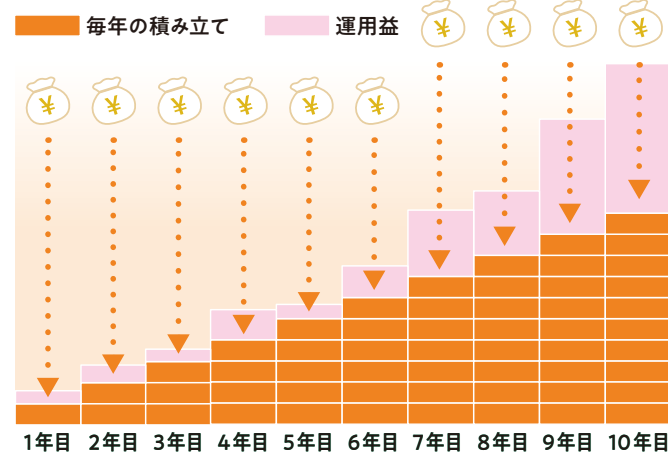
※控除を受けるためには、一定の要件を満たす必要があります。

※本ご案内は2019年12月現在の税制に基づき概略を示しております。また、内容につきましては、情報提供を目的として一般的な法律・税務上の取扱を記載しております。

※詳細は、国税庁のホームページ、または税理士等の専門家にご確認ください。

〈住宅ローン控除の活用方法〉

たとえば 積み立てしながら運用するイメージ



毎年の控除を
活用できて
よかった！

**将来必要な資金に
備えることができます！**

- リフォーム費
- 老後の資金
- こどもの学費
- 介護への備え
- 住宅ローンの繰り上げ返済資金 など

まずは相談して気軽に
シミュレーション！

『りそな銀行でお役に立てることがあります』

下記の商品を活用した資産形成をご提案します。

〈つみたてNISA〉

〈iDeCo〉

〈個人年金保険〉

〈終身保険〉

など

詳しくはお取引店の担当者よりご案内します